

ロケット発射台の移動測定室騒音低減の防音対策事例

ロケット発射時の騒音はロケットエンジン近傍で 140 dB ある。ロケット発射台の近くには測定機を設置している部屋があり、内部の測定機の作動状態を保証するため、内部音圧（騒音値）をある程度以下の騒音レベルに保持する必要がある。

ロケットの打ち上げ能力は日々増加しており、打ち上げ能力の増加に伴い、発生騒音も増加するため、当社へ対策案立案要請があった。

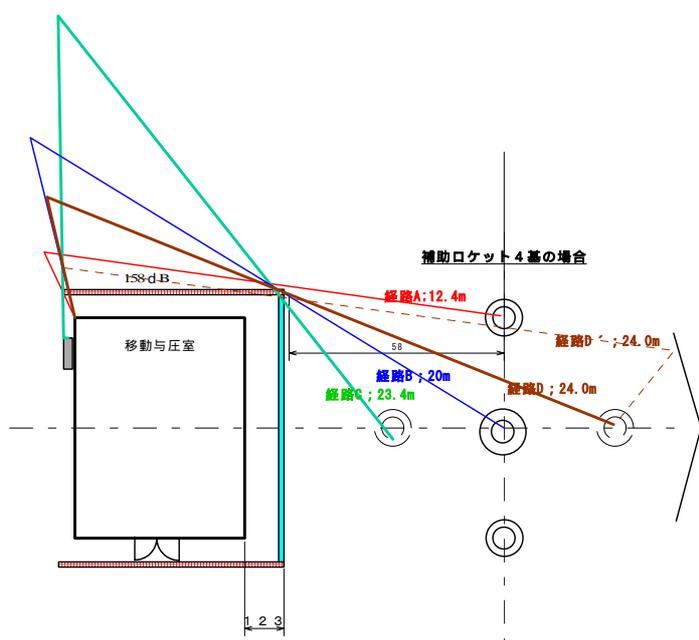
当社では、有料で現地調査を行い、ロケット発射音を 5 dB 程度低減可能な仕様案を提出、採用された。さらに当社案の採用にともない、当社吸音材イーディケル M-8000 が 150 m²採用された。

目的

- ◇ ロケット発射台移動測定室の騒音低減。

対策概要

- ◇ ロケット発射装置メーカーから当社に防音対策案立案の要請あり。
- ◇ 現地調査を有料で行い当社案作製
- ◇ 当社案採用、防音壁用の吸音材としてイーディケル M-8000 を出荷



防音性の計算用図

効果

- ◇ ロケット発射時の騒音で試験室内に親友する騒音を 5 dB 低減。

